

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 青山 雅之
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員コーポレート本部長（氏名） 相島 敏行 (TEL) 03-3278-4333
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	64,734	3.2	6,829	△4.3	8,842	△0.7	5,661	△4.0
2025年3月期中間期	62,733	7.2	7,137	3.3	8,907	△3.5	5,894	1.1

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 4,735百万円(△56.9%) 2025年3月期中間期 10,986百万円(△24.7%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期中間期	50	50	—	—
2025年3月期中間期	50	17	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
2026年3月期中間期	261,468	—	217,283	—	72.6	1,740	20	
2025年3月期	267,250	—	223,298	—	73.0	1,700	16	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 189,840百万円 2025年3月期 195,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	—
2026年3月期	—	25.00	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	131,000	△1.0	14,000	△6.7	18,500	△7.2	12,000	△8.5	110	90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年8月7日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	132,604,524株	2025年3月期	132,604,524株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	23,513,261株	2025年3月期	17,781,376株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	112,108,165株	2025年3月期中間期	117,487,195株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表及び主な注記	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
3. 補足情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資など一部に持ち直しがみられました。また、製造工業生産等、輸出・輸入などが横ばい傾向となりました。一方で、原材料の高止まりや米国の通商政策など懸念材料もあり、先行きは不明瞭な状況が続いております。また、世界経済におきましても、米国では個人消費が減速傾向で推移するなど低調基調となりました。そして、中国経済の減速傾向による景気後退リスク及び通商政策等のリスクもあり、依然として先行きは不透明となっております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、前期に発生した認証不正問題の影響等が小さくなってきていますが、米国の通商政策の影響等により、国内の生産台数は前年をやや下回る水準で推移しました。また、海外では、中国、インドなどでは生産台数が前年を上回りましたが、米国、タイ、インドネシアなどでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内では人手不足や資材費上昇などの影響により建設向け需要が低調となったほか、通商政策などにより製造業分野でも伸び悩んだため、粗鋼生産量は前年を下回る水準となりました。海外でもインド等一部の地域は増加傾向で推移しましたが、中国等の多くの地域では前年を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、今期より第5次中期経営計画をスタートさせました。2028年の創業100周年に向け、品質向上、安全確保、資本効率の向上など、持続的成長を支えるためのグループ経営基盤を確立するとともに、「変革への挑戦～Challenge for Change!～」をスローガンに掲げ、1928年の創業以来培ってきた表面改質技術を通じて、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓に注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。また、新総合技術研究所 (Parker Innovation Center) を開所させ、脱炭素社会の実現に向けた研究開発の推進や、コア技術の発展および将来を見据えた研究開発の強化にも努めております。

この結果、当中間期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
当中間会計期間 (2026年3月期)	64,734	6,829	8,842	5,661
前中間会計期間 (2025年3月期)	62,733	7,137	8,907	5,894
増減金額	2,000	△307	△64	△232
増減率	3.2%	△4.3%	△0.7%	△4.0%

売上高は647億34百万円（前年同期比3.2%増）となりました。なお、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期から、過去最も高い水準となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が1.8%の増収、装置事業が9.6%の増収、加工事業が1.7%の増収、その他が11.5%の増収となりました。また、地域別セグメントは、国内が4.0%の増収、アジアが5.0%の増収、欧米が7.3%の減収となりました。

営業利益は68億29百万円（前年同期比4.3%減）、**経常利益**は88億42百万円（前年同期比0.7%減）、**親会社株主に帰属する中間純利益**は56億61百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で8億1百万円程度の減収、営業利益で91百万円程度の減益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前中間会計	当中間会計	増減額	増減率	前中間会計	当中間会計	増減額	増減率
薬品事業	28,313	28,827	514	1.8%	5,087	4,493	△594	△11.7%
装置事業	9,673	10,604	931	9.6%	189	372	183	97.1%
加工事業	23,480	23,889	409	1.7%	2,312	2,631	318	13.8%
その他	1,267	1,412	145	11.5%	23	△35	△58	△247.7%
調整額(消去)	—	—	—	—	△475	△632	△156	△33.0%
連結損益計算書計上額	62,733	64,734	2,000	3.2%	7,137	6,829	△307	△4.3%

①薬品事業

売上高は288億27百万円(前年同期比1.8%増)となり、**営業利益**は44億93百万円(前年同期比11.7%減)となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなう最新のノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では鉄鋼分野を中心に、販売数量が前年同期をやや上回り、緩やかな回復基調で推移しました。そして、国内外での高付加価値製品の販売増加等により、薬品事業全体では売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の高値圏での推移及び、人件費及び減価償却費の増加により営業利益は減益となりました。

②装置事業

売上高は106億4百万円(前年同期比9.6%増)となり、**営業利益**は3億72百万円(前年同期比97.1%増)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。中国等において大型案件の減少等の影響があり販売が伸び悩みました。一方、インドでの販売拡大のほか、国内での販売増加がありました。その結果、装置事業全体では売上高は増収となり、利益面でも増益となりました。

③加工事業

売上高は238億89百万円(前年同期比1.7%増)となり、**営業利益**は26億31百万円(前年同期比13.8%増)となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。主に国内・タイおよびインドでは、自動車業界等向けにて販売増加があり、売上高は増収となりました。一方、中国では日系自動車メーカーの販売が伸び悩み、販売が減少しました。また、自動車生産台数が前年より減少したタイ等の地域においても販売が減少しました。利益面では、原材料費・光熱費の高止まり、及び人件費等の増加により厳しい状況でしたが、原価改善活動もあり営業利益は増益となりました。

④その他

売上高は14億12百万円(前年同期比11.5%増)となり、**営業損失**は35百万円(前年同期は23百万円の営業利益)となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業を営んでおります。また、当四半期において医療機器事業の会社を新設分割により設立しました。主にビルメンテナンス事業において販売が伸びた結果、売上高は増収となりました。一方、原価及び販管費の上昇等により利益面では減益となりました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前中間会計期間	当中間会計期間	増減率
減価償却費	3,338	3,519	5.4%
設備投資額	3,325	5,656	70.1%
研究開発費	1,021	1,407	37.7%
有利子負債	1,010	1,167	15.5%

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産合計は、前連結会計年度末と比較し57億81百万円減少し2,614億68百万円となりました。流動資産は120億85百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が87億39百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が22億77百万円、棚卸資産が7億97百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は63億3百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が8億46百万円、投資その他の資産が54億54百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し2億33百万円増加し441億85百万円となりました。流動負債は19億67百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が18億96百万円、流動負債その他に含まれる未払金が14億30百万円それぞれ減少した一方、流動負債その他に含まれる前受金が10億99百万円増加したことによるものです。固定負債は22億1百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が18億96百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し60億15百万円減少し2,172億83百万円となりました。主な要因は、自己株式が74億35百万円、その他有価証券評価差額金が37億51百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が42億93百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は72.6%と前連結会計年度末と比較し0.4ポイント減少するとともに、1株当たり純資産は1,740円20銭と40円4銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,808	69,068
受取手形、売掛金及び契約資産	44,525	42,248
有価証券	901	868
商品及び製品	4,008	3,621
仕掛品	85	47
原材料及び貯蔵品	7,238	6,866
その他	5,503	5,226
貸倒引当金	△2,203	△2,164
流動資産合計	137,868	125,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	32,823	31,906
機械装置及び運搬具 (純額)	14,309	13,135
土地	18,204	18,463
建設仮勘定	2,655	4,660
その他 (純額)	3,184	3,857
有形固定資産合計	71,177	72,023
無形固定資産	4,671	4,673
投資その他の資産		
投資有価証券	34,482	39,772
退職給付に係る資産	3,392	3,685
繰延税金資産	1,873	1,810
その他	13,872	13,808
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	53,532	58,987
固定資産合計	129,381	135,685
資産合計	267,250	261,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,286	14,389
短期借入金	200	204
未払法人税等	1,604	2,209
賞与引当金	2,504	2,067
役員賞与引当金	93	47
その他の引当金	617	449
その他	11,311	11,282
流動負債合計	32,617	30,650
固定負債		
長期借入金	250	250
退職給付に係る負債	3,482	3,550
役員退職慰労引当金	246	236
繰延税金負債	6,249	8,145
その他	1,106	1,352
固定負債合計	11,334	13,535
負債合計	43,951	44,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	5,489	5,489
利益剰余金	171,426	174,210
自己株式	△15,945	△23,381
株主資本合計	165,530	160,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,611	15,362
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	15,172	10,879
退職給付に係る調整累計額	2,903	2,719
その他の包括利益累計額合計	29,687	28,961
非支配株主持分	28,080	27,443
純資産合計	223,298	217,283
負債純資産合計	267,250	261,468

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	62,733	64,734
売上原価	41,702	42,936
売上総利益	21,030	21,797
販売費及び一般管理費	13,893	14,967
営業利益	7,137	6,829
営業外収益		
受取利息	401	430
受取配当金	415	446
受取賃貸料	377	402
持分法による投資利益	441	657
為替差益	87	—
その他	528	608
営業外収益合計	2,250	2,547
営業外費用		
支払利息	14	8
賃貸費用	166	170
為替差損	—	78
設備移設費用	—	114
その他	299	162
営業外費用合計	480	533
経常利益	8,907	8,842
特別利益		
固定資産売却益	37	10
投資有価証券売却益	—	583
ゴルフ会員権売却益	50	—
特別利益合計	88	594
特別損失		
固定資産除売却損	21	88
事業構造改善費用	—	79
その他	1	9
特別損失合計	23	177
税金等調整前中間純利益	8,972	9,259
法人税等	2,152	2,786
中間純利益	6,819	6,473
非支配株主に帰属する中間純利益	924	812
親会社株主に帰属する中間純利益	5,894	5,661

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,819	6,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,145	3,847
為替換算調整勘定	5,771	△4,903
退職給付に係る調整額	△260	△183
持分法適用会社に対する持分相当額	801	△499
その他の包括利益合計	4,166	△1,738
中間包括利益	10,986	4,735
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,667	4,934
非支配株主に係る中間包括利益	2,318	△199

(3) 中間連結財務諸表及び主な注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	28,313	9,673	23,480	61,466	1,267	62,733	—	62,733
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	192	21	763	46	810	△810	—
計	28,862	9,865	23,501	62,229	1,313	63,543	△810	62,733
セグメント利益又は 損失(△)	5,087	189	2,312	7,589	23	7,613	△475	7,137

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△475百万円には、セグメント間取引消去270百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△746百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	28,827	10,604	23,889	63,321	1,412	64,734	—	64,734
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	606	295	34	936	3	940	△940	—
計	29,434	10,900	23,923	64,258	1,416	65,674	△940	64,734
セグメント利益又は 損失(△)	4,493	372	2,631	7,497	△35	7,462	△632	6,829

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△632百万円には、セグメント間取引消去215百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△848百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

2026年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2025年4月～6月	第2四半期 2025年7月～9月	第3四半期 2025年10月～12月	第4四半期 2026年1月～3月	通算 2025年4月～2026年3月
売上高	31,876	32,857			64,734
売上総利益	10,716	11,080			21,797
営業利益	3,413	3,416			6,829
経常利益	4,033	4,809			8,842
税金等調整前当期純利益	4,552	4,707			9,259
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,810	2,851			5,661
総資産	256,085	261,468			—
純資産	215,591	217,283			—

2025年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,388	33,723	35,824	132,281
売上総利益	10,475	10,555	11,332	11,545	43,909
営業利益	3,654	3,482	4,169	3,691	14,998
経常利益	4,909	3,997	5,286	5,742	19,936
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027	5,231	5,499	19,702
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,024	2,869	3,665	3,552	13,112
総資産	266,910	265,566	264,483	267,250	—
純資産	223,068	225,074	220,208	223,298	—

2024年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2023年4月～6月	第2四半期 2023年7月～9月	第3四半期 2023年10月～12月	第4四半期 2024年1月～3月	通算 2023年4月～2024年3月
売上高	28,622	29,889	32,528	34,044	125,085
売上総利益	9,672	10,458	11,362	11,200	42,693
営業利益	3,179	3,727	4,401	3,949	15,258
経常利益	4,274	4,952	5,469	5,249	19,945
税金等調整前当期純利益	4,285	4,764	5,612	6,272	20,935
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,698	3,131	3,445	3,919	13,194
総資産	239,330	251,270	255,717	269,819	—
純資産	200,200	208,438	211,704	219,885	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失 (△)			
		前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	15,893	16,408	515	3.2%	2,553	2,220	△ 333	△13.0%
	アジア	11,848	12,010	161	1.4%	2,070	1,898	△ 172	△8.3%
	欧米	571	409	△ 161	△28.3%	147	40	△ 107	△72.4%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	548	606	57	10.5%	315	334	18	5.9%
	計	28,862	29,434	572	2.0%	5,087	4,493	△ 594	△11.7%
装置 事業	日本	6,777	6,913	135	2.0%	65	166	101	155.1%
	アジア	2,379	3,348	969	40.7%	41	96	55	133.6%
	欧米	516	342	△ 173	△33.7%	34	43	8	25.1%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	192	295	102	53.3%	47	65	18	38.2%
	計	9,865	10,900	1,034	10.5%	189	372	183	97.1%
加工 事業	日本	12,186	12,822	635	5.2%	1,423	1,973	549	38.6%
	アジア	6,108	6,000	△ 107	△1.8%	657	553	△ 104	△15.8%
	欧米	5,185	5,066	△ 119	△2.3%	123	△ 18	△ 142	△115.2%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	21	34	12	58.1%	107	123	16	15.0%
	計	23,501	23,923	421	1.8%	2,312	2,631	318	13.8%
報告セグメント計		62,229	64,258	2,028	3.3%	7,589	7,497	△ 91	△1.2%
その 他	日本	1,267	1,412	145	11.5%	23	△ 35	△ 58	△249.6%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	46	3	△ 43	△92.1%	0	0	—	△50.0%
	計	1,313	1,416	102	7.8%	23	△ 35	△ 58	△247.7%
合計		63,543	65,674	2,130	3.4%	7,613	7,462	△ 150	△2.0%
調整額		△ 810	△ 940	△ 129	△16.0%	△ 475	△ 632	△ 156	△33.0%
連結損益計算書計上額		62,733	64,734	2,000	3.2%	7,137	6,829	△ 307	△4.3%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益				
	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	
日本	38,001	39,576	1,574	4.1%	4,206	4,435	229	5.4%	
アジア	20,979	21,463	483	2.3%	2,760	2,548	△ 211	△7.7%	
欧米	6,291	5,973	△ 317	△5.1%	306	65	△ 241	△78.6%	
合計	65,273	67,013	1,740	2.7%	7,273	7,050	△ 223	△3.1%	
調整額	△ 2,539	△ 2,278	260	10.3%	△ 136	△ 220	△ 83	△61.2%	
連結損益計算書計上額		62,733	64,734	2,000	3.2%	7,137	6,829	△ 307	△4.3%